

会山行 No.2376

尾瀬：燧ヶ岳・至仏山

- ◆日程 2022年8月27日(土)～28日(日)
 ◆メンバー L：OT、MD

尾瀬に行ってみたかった。燧ヶ岳と至仏山は当然として、尾瀬沼も盛り込みたい。初夏の花、紅葉の時期はいつも混んでいるイメージだが、思い立った8月末は閑散期なのか切符が容易に取れた。天候が不安だが、実行を決めた。

8月27日(土) 天候：晴れ後雨

浅草駅 22:45 発の夜行列車は案の定空いていた。車両も新しく快適。3時過ぎまでの短い間仮眠。車内の明かりは完全には消灯されないのでアイマスクや耳栓があればさらに快適だろう。

沼山峠に着くと予報以上の好天。尾瀬沼までは殆ど登りはなく爽やかなハイク。尾瀬沼ビジターセンター傍で別計画山行のYNさんと遭遇、先に出発して行かれた。尾瀬沼沿いを進んだ沼尻の休憩所でMDさんと別れ、いよいよ燧ヶ岳に向かう。岩がごろごろしている急登が始まり、30分ほどで急



に体の動きが鈍くなる。オーバーヒートだ。湿気と暑さで熱中症気味なのだろう、こまめに休憩を取りながら進む。途中先行していたYNさんと再会。各自のペースで登る。やがて樹林が低くなり風の通りが良くなって調子も戻る。双耳峰である燧ヶ岳の一つ目のピーク俎嶮からは尾瀬沼や尾瀬ヶ原、平ヶ岳などの近隣の山が望める素晴らしい眺望。至仏山は頭が雲に覆われている。二つ目のピークであり最高点となる柴安嶮に着くと曇り始めており、眺望なし。午後から天気が崩れるという予報通りの様子。長居せずに見晴に向けて下山開始、こちらのルートはぬかるんだ泥だらけ。泥にはまらないように慎重に進むため、スピードが上がらない。終盤で雨が降り出したので、レインウェア着用。益々蒸し暑い。見晴に着くとテント場はガラガラに空いている。先着のMDさんの隣に設営。



MDさんは沼尻から見晴まで直行し、集落のように建っている山小屋巡りをしつつ小屋のランチ(ジビエ肉のボロネーゼ)を楽しむなど満喫した模様。

雨が降り出したころYNさんが燧ヶ岳から下山。テント場脇の屋根付き休憩所でYNさんが差し入れてくださった絶品のモツ煮で乾杯。楽しい初日の晩を締めくくった。

雨が降り出したころYNさんが燧ヶ岳から下山。テント場脇の屋根付き休憩所でYNさんが差し入れてくださった絶品のモツ煮で乾杯。楽しい初日の晩を締めくくった。

(記：OT)

CT：沼山峠 6:30 - 尾瀬沼(長蔵小屋) 7:30/7:50 - 沼尻 8:35/8:55 - 俎嶮
 11:00/11:20-柴安嶮 11:35/11:50 - 見晴(幕営) 14:15

8月28日(土) 天候：曇り時々雨

夜降った雨は、起きた時には幸いにも止んでいた！久しぶりのテント泊で片付けに手間取り、予定より15分遅れのスタート。YNさんは至仏山には登らず鳩待峠に下りるらしく、ここでお別れとなった。

山の鼻まで2時間ほどの平坦な木道が続く。ガスで辺りは真っ白。これはこれで幻想的で良い。お陰でハイカーともほとんど会わず、尾瀬ヶ原を独り占め状態だ。

山の鼻の登山口からはなかなかの急登。雨で濡れた蛇紋岩がよく滑る。細かい雨が時折降り、湿度はMAX。滝汗が流れレインが中から濡れる。健脚マンOTさんに付いていけるか不安がよぎる。前日の燧ヶ岳で相当なダメージを受けているものの、YNさんのモツ煮で体力回復している。

稜線に出ると気温は下がり、汗は引いた。ガスは相変わらず晴れない。コースタイム通りで至仏山に登頂。全く眺望は無いが、怪我明けの登山で無事に登頂できたことが嬉しかった。

13時過ぎに鳩待峠に着くと、大粒の雨が降ってきた。靴の泥だけ落とし、乗り合いタクシーで戸倉へと向かう。YNさんはもう車で帰路についている頃だろうか。

戸倉に着き温泉施設に向かう途中、一台の軽自動車がゆっくりと近づき、何度もクラクションを鳴らしてくる。何だ、何だ？と運転席に目をやると、そこにはニヤッと笑うYNさんの姿があった…

(記：MD)

CT：見晴 5:45 - 龍宮小屋 6:20 - 山の鼻 8:00 - 至仏山 10:50/11:05 - 小至仏山
11:50 - 鳩待峠 13:30

